

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11143966 A**(43) Date of publication of application: **28.05.99**

(51) Int. Cl.

G06F 19/00
G06F 17/60
(21) Application number: **09304166**(22) Date of filing: **06.11.97**(71) Applicant: **HITACHI LTD**
(72) Inventor: **YAKABE TARO**
MORI TOSHIHIKO
SOGA SHUJI
**(54) ELECTRONIC SALES PROMOTION AND
 BUSINESS TALK METHOD AND ITS EXECUTION
 SYSTEM**

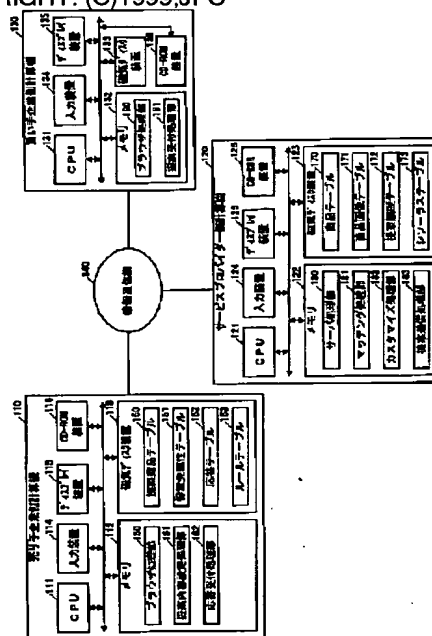
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To effectively carry out the sales promotion and business talk jobs by transmitting the commodity information having the commodity characteristic corresponding to a specific keyword to a buyer who satisfies a specific proposal rule and receiving an answer showing whether the relevant commodity is needed from the buyer.

SOLUTION: A proposal contents setting processing part 161 designates a specific keyword and a specific proposal rule, retrieves and reads out the commodity information corresponding to the specific keyword via a matching processing part 181, and decides a buyer who satisfies the condition of the proposal as a proposal destination to set the proposal contents via a customization processing part 182. A proposal transmission processing part 183 sends the commodity information read by the part 181 to the proposal destination decided by the part 182 via a network 140. A proposal reception processing part 191 of the proposal destination receives the commodity information sent from

the part 183 and sends an answer showing whether the relevant commodity is needed to a seller via the network 140.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-143966

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月28日

(51) Int. Cl.⁶G 0 6 F 19/00
17/60

識別記号

P I

G 0 6 F 15/24
15/21

3 3 0

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平9-304166

(22) 出願日 平成 9 年 (1997) 11 月 6 日

(71) 出版人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72) 発明者 矢加部 太郎

神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目 2 番

株式会社日立製作所ビジネスシステム開発
センタ内

(72) 発明者 森 俊彦

神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目 2 番

株式会社日立製作所ビジネスシステム開発
センタ内

(74) 代理人 弁理士 秋田 収喜

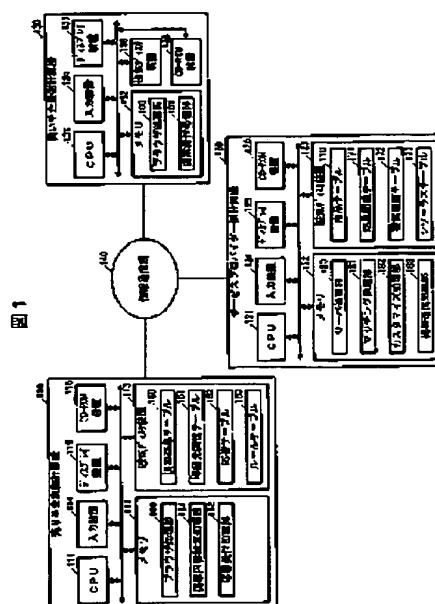
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電子販売促進・商談方法及びその実施システム

(57) 【要約】

【課題】 販売促進・商談業務を効率的に行うことが可能な技術を提供する。

【解決手段】 商品の売り手と買い手との間の販売促進・商談業務をネットワークを介して行う電子販売促進・商談方法であって、特定のキーワードに対応する商品情報を検索して読み出し、特定の提案ルールを満たす買い手を提案先として決定し、前記読み出された商品情報を前記決定された提案先に送信し、前記送信された商品情報を受け付けて当該商品が必要であるかどうかを示す応答を提案先から売り手に送信し、前記送信された応答を提案先から受け付けて受注処理または代替商品検索処理を行うものである。



(2)

特開平11-143966

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品の売り手と買い手との間の販売促進・商談業務をネットワークを介して行う電子販売促進・商談方法であって、

特定のキーワードに対応する商品情報を検索して読み出し、特定の提案ルールを条件を満たす買い手を提案先として決定し、前記読み出された商品情報を前記決定された提案先に送信し、前記送信された商品情報を受け付けて当該商品が必要であるかどうかを示す応答を提案先から売り手に送信し、前記送信された応答を提案先から受け付けて受注処理または代替商品検索処理を行うことを特徴とする電子販売促進・商談方法。

【請求項2】 商品の売り手と買い手との間の販売促進・商談業務をネットワークを介して行う電子販売促進・商談システムであって、

特定のキーワード及び提案ルールを指定して提案内容を設定する提案内容設定処理部と、前記特定のキーワードに対応する商品情報を検索して読み出すマッチング処理部と、前記提案ルールの条件を満たす買い手を提案先として決定するカスタマイズ処理部と、前記マッチング処理部により読み出された商品情報を前記カスタマイズ処理部により決定された提案先に送信する提案送信処理部と、前記送信した商品情報に対する応答を提案先から受け付けて受注処理または代替商品検索処理を行う応答受付処理部とを有する売り手側計算機と、

前記送信された商品情報を受け付けて当該商品が必要であるかどうかを示す応答を提案先から売り手に送信する提案受付処理部を有する買い手側計算機とを備えることを特徴とする電子販売促進・商談システム。

【請求項3】 商品の売り手と買い手との間の販売促進・商談業務をネットワークを介して行う電子販売促進・商談システムであって、

特定のキーワード及び提案ルールを指定して提案内容を設定する提案内容設定処理部と、前記送信した商品情報に対する応答を提案先から受け付けて受注処理または代替商品検索処理を行う応答受付処理部とを有する売り手側計算機と、

前記特定のキーワードに対応する商品情報を検索して読み出すマッチング処理部と、前記提案ルールの条件を満たす買い手を提案先として決定するカスタマイズ処理部と、前記マッチング処理部により読み出された商品情報を前記カスタマイズ処理部により決定された提案先に送信する提案送信処理部とを有するサービスプロバイダー側計算機と、

前記送信された商品情報を受け付けて当該商品が必要であるかどうかを示す応答を提案先から売り手に送信する提案受付処理部を有する買い手側計算機とを備えることを特徴とする電子販売促進・商談システム。

【請求項4】 前記マッチング処理部は前記特定のキーワードまたは前記特定のキーワードに類似する単語に一

2

致する商品特性を検索することにより前記特定のキーワードに対応する商品情報を読み出すことを特徴とする請求項2または請求項3のいずれかに記載された電子販売促進・商談システム。

【請求項5】 前記応答受付処理部は買い手側が不要であると応答した商品の代替商品の提案を行うことを特徴とする請求項2乃至請求項4のいずれか1項に記載された電子販売促進・商談システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は売り手企業が買い手企業に対して商品の売り込みを行う行為である販売促進や商談をコンピュータネットワーク上で行う電子販売促進・商談システムに関し、特にスーパーマーケットやコンビニエンスストア等の様に商品やサービスの販売を行う販売業者と卸売業者等の様にその販売業者に対して商品の供給を行う流通業者との間の販売促進・商談業務をコンピュータネットワーク上で行うシステムや、また膨大かつセキュリティを要する商品情報及び顧客情報等の情報のコンピュータネットワーク上での管理及び買い手企業と売り手企業との間に発生する販売促進・商談業務をサポートする第三者機関における電子販売促進・商談システムに適用して有効な技術に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の商談システムとして携帯型コンピュータを利用して商品説明のサポートを行うシステムがある。これは商品の分類、形状及び大きさを示す商品情報や、子供向けまたは夏向け等の商品の性質を示す商品付帯情報を携帯型コンピュータのディスプレイに表示して商品説明を行うものである。この場合、売り手と買い手とが対面しての商談となる。

【0003】またネットワーク上で商品情報のやり取りを行うシステムとしては、「基礎セミナー」ICFSと標準POS、平成5年7月、(財)流通システム開発センター、流通コードセンター」に記載されている様に、(財)流通システム開発センターが運営するJICFS(JAN Item Code File Service)等のデータベースシステムがある。多くの場合、これらの商品情報は発注等の商流や物流の分野で活用されている。

【0004】更に、商品の画像情報のデータベース化といった観点では「EC商品画像情報システム推進協議会活動のご案内、EC商品画像情報システム推進協議会」に記載されている様に「SP」がある。しかし、これはセールス支援や新商品案内といった売り手から買い手への一方向への情報提供にとどまっている。

【0005】一方、膨大な商品情報及びネットワークの管理や付帯サービスを行っている第三者機関として、流通VANセンターがある。一般的にVANセンターのサービスは、受発注業務の代行といった様な商流の分野の

(3)

特開平11-143966

3

サポートが中心となっている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】従来の携帯型コンピュータを用いた商談システムでは、売り手と買い手が対面しての商談となる為、商談の為の移動や待ち時間が多く発生するという問題がある。

【0007】また商談とは売り手及び買い手が交渉の末、商品の購入または非購入を決定する行為である為、先に挙げた様なネットワークを活用した商品情報の提供という一方のみの情報発信では商談システムとして不

充分である。
【0008】更に、商品情報及びネットワークの管理を行う第三者機関に関しては、受発注業務及び決済業務の代行という様に商品購入決定後の業務手続きの代行は行っているが、商品購入決定以前の販売促進・商談活動に関するサポートは充分に行えていない。

【0009】本発明の目的は上記問題を解決し、販売促進・商談業務を効率的に行うことが可能な技術を提供することにある。

【0010】本発明の他の目的は買い手との間で販売促進・商談業務を行う際の売り手の負担を軽減することが可能な技術を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は商品の売り手と買い手との間の販売促進・商談業務をネットワークを介して行う電子販売促進・商談システムであって、特定のキーワードに対応する商品特性を有する商品情報を特定の提案ルールを満たす買い手に送信し、当該商品が必要であるかどうかを示す応答を買い手から受信して受注処理または代替商品の提案を行うものである。

【0012】本発明の電子販売促進・商談システムの提案内容設定処理部は、特定のキーワード及び提案ルールを指定し、マッチング処理部により前記特定のキーワードに対応する商品情報を検索して読み出し、カスタマイズ処理部により前記提案ルールの条件を満たす買い手を提案先として決定して提案内容を設定する。

【0013】提案送信処理部は、前記マッチング処理部により読み出された商品情報を前記カスタマイズ処理部により決定された提案先にインターネット等のネットワークを介して送信し、提案先の提案受付処理部は前記送信された商品情報を受け付けて当該商品が必要であるかどうかを示す応答を前記ネットワークを介して売り手に送信する。

【0014】売り手の応答受付処理部は、前記送信された商品情報に対する応答を提案先から受け付け、応答の内容に応じて受注処理または代替商品検索処理を行う。

【0015】以上の様に本発明の電子販売促進・商談システムによれば、ネットワーク上において売り手と買い手が商品情報及びその応答を双方向でやり取りするので、販売促進・商談業務を効率的に行うことが可能であ

4

る。

【0016】

【発明の実施の形態】以下に売り手企業と買い手企業との間でサービスプロバイダーを介してネットワーク上で販売促進及び商談を行う一実施形態の電子販売促進・商談システムについて説明する。

【0017】図1は本実施形態の電子販売促進・商談システムの概略構成を示す図である。図1に示す様に本実施形態の電子販売促進・商談システムは、売り手企業側計算機110と、サービスプロバイダー側計算機120と、買い手企業側計算機130と、情報通信網140とを有している。

【0018】売り手企業側計算機110は販売促進及び商談を行う為の売り手企業側での処理を実行する計算機である。サービスプロバイダー側計算機120は販売促進及び商談を行う為のサービスプロバイダー側での処理を実行する計算機である。

【0019】買い手企業側計算機130は販売促進及び商談を行う為の買い手企業側での処理を実行する計算機である。情報通信網140は分散配置された3つの売り手企業側計算機110、サービスプロバイダー側計算機120及び買い手企業側計算機130を接続するインターネット等の通信網である。

【0020】売り手企業側計算機110は、CPU111と、メモリ112と、磁気ディスク装置113と、入力装置114と、ディスプレイ装置115と、CD-ROM装置116とを有している。

【0021】CPU111は売り手企業側計算機110全体の動作を制御する処理装置である。メモリ112は販売促進や商談を行う為の処理プログラムを含む各種処理プログラムをロードする記憶装置である。磁気ディスク装置113は売り手企業側計算機110で実行される各種処理プログラムや各種テーブルのデータを格納する装置である。

【0022】入力装置114は売り手企業側計算機110に操作指示等を入力する装置である。ディスプレイ装置115は売り手企業側計算機110での処理内容を表示する装置である。CD-ROM装置116は売り手企業側計算機110で実行される各種処理プログラムを格納したCD-ROMを読み込む装置である。

【0023】磁気ディスク装置113は、提案商品テーブル150と、得意先属性テーブル151と、応答テーブル152と、ルールテーブル153とを有している。

【0024】提案商品テーブル150は売り手企業から買い手企業に対して提案を行う商品の候補を格納するテーブルである。得意先属性テーブル151は売り手企業の得意先の属性情報を格納するテーブルである。

【0025】応答テーブル152は買い手企業からの提案に対する応答のログを格納するテーブルである。ルールテーブル153は提案先となる得意先企業及び提案商

(4)

特開平11-143966

5

品数を決定する為のルールである提案ルールを格納するテーブルである。

【0026】また売り手企業側計算機110は、ブラウザ処理部160と、提案内容設定処理部161と、応答受付処理部162とを有している。

【0027】ブラウザ処理部160はサービスプロバイダー側計算機120や買い手企業側計算機130との間で通信を行って販売促進及び商談処理に必要なデータ等を送受信する処理部である。提案内容設定処理部161は特定のキーワード及び提案ルールを指定して提案内容10を送信した商品情報に対する応答を提案先から受け付けて受注処理または代替商品検索処理を行う処理部である。

【0028】売り手企業側計算機110をブラウザ処理部160、提案内容設定処理部161及び応答受付処理部162として機能させる為のプログラムは、CD-ROM等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はCD-ROM以外の他の媒体でも良い。

【0029】サービスプロバイダー側計算機120は、CPU121と、メモリ122と、磁気ディスク装置123と、入力装置124と、ディスプレイ装置125と、CD-ROM装置126とを有している。

【0030】CPU121はサービスプロバイダー側計算機120全体の動作を制御する処理装置である。メモリ122は販売促進や商談を行う為の処理プログラムを含む各種処理プログラムをロードする記憶装置である。

【0031】磁気ディスク装置123はサービスプロバイダー側計算機120で実行される各種処理プログラムや各種テーブルのデータを格納する装置である。入力装置124はサービスプロバイダー側計算機120に操作指示等を入力する装置である。

【0032】ディスプレイ装置125はサービスプロバイダー側計算機120での処理内容を表示する装置である。CD-ROM装置126はサービスプロバイダー側計算機120で実行される各種処理プログラムを格納したCD-ROMを読み込む装置である。

【0033】磁気ディスク装置123は、商品テーブル170と、商品画像テーブル171と、提案履歴テーブル172と、シソーラステーブル173とを有している。

【0034】商品テーブル170は商品の分類、名称、価格及び特性等の商品情報を格納するテーブルであり、商品のマスタ的役割を有するテーブルである。商品画像テーブル171は商品の画像データを格納するテーブルである。

【0035】提案履歴テーブル172は売り手企業が買い手企業に対して行った提案の履歴を管理するテーブルである。シソーラステーブル173はキーワードと関連

6

性の深い単語を格納するテーブルである。

【0036】またサービスプロバイダー側計算機120は、サーバ処理部180と、マッチング処理部181と、カスタマイズ処理部182と、提案送信処理部183とを有している。

【0037】サーバ処理部180は売り手企業側計算機110や買い手企業側計算機130との間で通信を行って販売促進及び商談処理に必要なデータ等を送受信する処理部である。マッチング処理部181は提案内容設定処理部161から受け取ったキーワードに対応する商品情報を読み出して売り手企業側計算機110に送信する処理部である。

【0038】カスタマイズ処理部182は提案内容設定処理部161から受け取った提案ルールの条件を満たす買い手を提案先として決定する処理部である。提案送信処理部183はマッチング処理部181により読み出された商品情報をカスタマイズ処理部182により決定された提案先に送信する処理部である。

【0039】サービスプロバイダー側計算機120をサーバ処理部180、マッチング処理部181、カスタマイズ処理部182及び提案送信処理部183として機能させる為のプログラムは、CD-ROM等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はCD-ROM以外の他の媒体でも良い。

【0040】買い手企業側計算機130は、CPU131と、メモリ132と、磁気ディスク装置133と、入力装置134と、ディスプレイ装置135と、CD-ROM装置136とを有している。

【0041】CPU131は買い手企業側計算機130全体の動作を制御する処理装置である。メモリ132は販売促進や商談を行う為の処理プログラムを含む各種処理プログラムをロードする記憶装置である。磁気ディスク装置133は買い手企業側計算機130で実行される各種処理プログラムや各種テーブルのデータを格納する装置である。

【0042】入力装置134は買い手企業側計算機130に操作指示等を入力する装置である。ディスプレイ装置135は買い手企業側計算機130での処理内容を表示する装置である。CD-ROM装置136は買い手企業側計算機130で実行される各種処理プログラムを格納したCD-ROMを読み込む装置である。

【0043】また買い手企業側計算機130は、ブラウザ処理部190と、提案受付処理部191とを有している。

【0044】ブラウザ処理部190は売り手企業側計算機110やサービスプロバイダー側計算機120との間で通信を行って販売促進及び商談処理に必要なデータ等を送受信する処理部である。提案受付処理部191は提案送信処理部183から送信された商品情報を受け付け

(5)

特開平11-143966

7

て当該商品が必要であるかどうかを示す応答を売り手に送信する処理部である。

【0045】買い手企業側計算機130をブラウザ処理部190及び提案受付処理部191として機能させる為のプログラムは、CD-ROM等の記録媒体に記録され磁気ディスク等に格納された後、メモリにロードされて実行されるものとする。なお前記プログラムを記録する媒体はCD-ROM以外の他の媒体でも良い。

【0046】なお本実施形態の電子販売促進・商談システムはサービスプロバイダー側計算機120を有しているが、売り手企業側計算機110にサービスプロバイダー側計算機120の機能を持たせ、売り手企業側計算機110と買い手企業側計算機130とを有する構成としても良い。

【0047】図2は本実施形態の提案商品テーブル150の一例を示す図である。図2に示す様に本実施形態の提案商品テーブル150は、提案キーワード記憶欄201と、商品記憶欄202と、コメント記憶欄203とを有している。

【0048】提案キーワード記憶欄201は買い手企業へ商品の提案を行う際のキーワードである提案キーワードを記憶する欄である。商品記憶欄202は提案キーワード記憶欄201の提案キーワードに対応した提案商品を識別する為の商品IDを複数記憶する欄である。コメント記憶欄203は当該提案キーワードに対応した提案に関するコメントを記憶する欄である。

【0049】図3は本実施形態の得意先属性テーブル151の一例を示す図である。図3に示す様に本実施形態の得意先属性テーブル151は、得意先ID記憶欄301と、得意先名称記憶欄302と、業態記憶欄303と、立地名称記憶欄304と、売り場面積記憶欄305とを有している。

【0050】得意先ID記憶欄301は得意先を識別する為の得意先IDを記憶する欄である。得意先名称記憶欄302は得意先ID記憶欄301の得意先IDに対応した得意先の名称を記憶する欄である。業態記憶欄303はスーパーマーケットを表す「SM」等、当該得意先IDに対応した得意先が属している業態の名称を記憶する欄である。

【0051】立地名称記憶欄304は当該得意先IDに対応した得意先の店舗の「駅前」等の立地名称を記憶する欄である。売り場面積記憶欄305は当該得意先IDに対応した得意先の店舗の売り場面積を記憶する欄である。

【0052】図4は本実施形態の応答テーブル152の一例を示す図である。図4に示す様に本実施形態の応答テーブル152は、提案ID記憶欄401と、商品ID記憶欄402と、応答記憶欄403とを有している。

【0053】提案ID記憶欄401は提案を識別する為の提案IDを記憶する欄である。商品ID記憶欄402

8

は提案ID記憶欄401の提案IDに対応した提案商品を識別する為の商品IDを記憶する欄である。応答記憶欄403は当該提案IDに対応した提案商品に対する買い手企業からの応答を示すフラグを記憶する欄である。

【0054】図4に示す様に応答テーブル152は、提案した商品全てに対してその商品ID及びその応答フラグを格納する商品ID記憶欄402及び応答記憶欄403を複数有している。

【0055】なお応答記憶欄403の「要」は、当該商品IDに対応した商品が必要であることを示す応答を買い手企業から受信したことを示しており、同様に「不要」は、当該商品IDに対応した商品が不要であることを示す応答を買い手企業から受信したことを示している。

【0056】図5は本実施形態のルールテーブル153の一例を示す図である。図5に示す様に本実施形態のルールテーブル153は、ルールID記憶欄501と、IF部記憶欄502と、THEN部記憶欄503とを有している。

【0057】ルールID記憶欄501は提案ルールを識別する為のルールIDを記憶する欄である。IF部記憶欄502はルールID記憶欄501のルールIDに対応した提案ルールが成立する条件を示す条件部を記憶する欄である。THEN部記憶欄503は当該ルールIDに対応したIF部記憶欄502の条件部が成立したときに選択される商品数を示す結論部を記憶する欄である。

【0058】図6は本実施形態の商品テーブル170の一例を示す図である。図6に示す様に本実施形態の商品テーブル170は、商品ID記憶欄601と、商品分類記憶欄602と、商品名称記憶欄603と、価格記憶欄604と、商品特性記憶欄605とを有している。

【0059】商品ID記憶欄601は商品を識別する為の商品IDを記憶する欄である。商品分類記憶欄602は商品ID記憶欄601の商品IDに対応した商品が属している商品分類を記憶する欄である。商品名称記憶欄603は当該商品IDに対応した商品の名称を記憶する欄である。

【0060】価格記憶欄604は当該商品IDに対応した商品の価格を記憶する欄である。商品特性記憶欄605は当該商品IDに対応した商品の持つ「子供向け」、「自然指向」及び「ハイキング」等の特性を複数記憶する欄である。

【0061】図7は本実施形態の商品画像テーブル171の一例を示す図である。図7に示す様に本実施形態の商品画像テーブル171は、商品ID記憶欄701と、商品画像記憶欄702とを有している。

【0062】商品ID記憶欄701は商品を識別する為の商品IDを記憶する欄である。商品画像記憶欄702は商品ID記憶欄701の商品IDに対応した商品の画像データを記憶する欄である。

(6)

特開平11-143966

9

【0063】図8は本実施形態の提案履歴テーブル172の一例を示す図である。図8に示す様に本実施形態の提案履歴テーブル172は、提案ID記憶欄801と、提案先記憶欄802と、提案商品記憶欄803とを有している。

【0064】提案ID記憶欄801は提案を識別する為の提案IDを記憶する欄である。提案先記憶欄802は提案ID記憶欄801の提案IDに対応した提案の提案先を記憶する欄である。提案商品記憶欄803は当該提案IDに対応した提案商品を識別する為の商品IDを複数記憶する欄である。

【0065】図9は本実施形態のシソーラステーブル173の一例を示す図である。図9に示す様に本実施形態のシソーラステーブル173は、キー記憶欄901と、関連ワード記憶欄902とを有している。

【0066】キー記憶欄901は商品の情報を検索する為のキーワードに対応した単語を記憶する欄である。関連ワード記憶欄902はキー記憶欄901に格納された単語と関連性の深い単語を複数記憶する欄である。

【0067】図10は本実施形態の電子販売促進・商談システムの処理手順を示すフローチャートである。図11から図18は、ディスプレイ装置115またはディスプレイ装置135で出力する画面イメージ例である。以下これらの図にしたがって、売り手企業側計算機110、サービスプロバイダー側計算機120及び買い手企業側計算機130での電子販売促進・商談システムについて説明する。

【0068】本実施形態の電子販売促進・商談システムの売り手企業側計算機110のブラウザ処理部160は、ステップ1001でサービスプロバイダー側計算機120のサーバ処理部180からHTML (Hyper Text Markup Language) ファイルを受信し、提案商品を検索する為の検索画面をディスプレイ装置115に表示する。

【0069】図11は本実施形態の提案商品の検索画面の出力例を示す図である。図11に示す様に本実施形態の提案商品検索画面1100は、入力領域1101と、入力領域1102と、実行ボタン1103とを有している。

【0070】入力領域1101は検索の為のキーワードを入力する領域である。入力領域1102は複数キーワードの検索論理式を入力する領域である。実行ボタン1103は提案商品の情報を検索する処理を開始する為のボタンである。

【0071】システム利用者である売り手企業の担当者は、提案を行う商品を選択する為に、任意のキーワードを入力装置114により提案商品検索画面1100の入力領域1101に入力する。更にそのキーワードが複数存在する場合には、入力装置114により入力領域1102に“AND”や“OR”の条件式を入力し、全ての

10

キーワードと条件式の入力終了後、入力装置114により実行ボタン1103を押下する。

【0072】実行ボタン1103が押下されると売り手企業側計算機110の提案内容設定処理部161は、前記入力されたキーワード及び条件式から成る検索条件をブラウザ処理部160から情報通信網140を介してサービスプロバイダー側計算機120に送信する。

【0073】サービスプロバイダー側計算機120のサーバ処理部180は、売り手企業側計算機110から送信された検索条件を受信し、受信した検索条件をマッチング処理部181に渡す。マッチング処理部181は受信した検索条件を用いてシソーラステーブル173と商品テーブル170の商品特性記憶欄605とのマッチング処理を行う。

【0074】すなわちマッチング処理部181は、受け付けたキーワードとシソーラステーブル173のキー記憶欄901の内容とを比較し、前記キーワードとキー記憶欄901中のキーとが一致するレコードの関連ワード記憶欄902中の単語を読み出す。

【0075】次にマッチング処理部181は、前記受け付けたキーワード及び前記読み出した単語全てと、商品テーブル170の商品特性記憶欄605に格納されている商品特性とを比較し、前記キーワードまたは単語に一致する商品特性を有する商品テーブル170のレコードを検索する。

【0076】検索を行った後、サービスプロバイダー側計算機120のサーバ処理部180は、商品テーブル170の該当レコードに格納されている情報を情報通信網140を通して売り手企業側計算機110に送信する。本実施形態の電子販売促進・商談システムでは、例えば商品テーブル170の該当レコードの商品名称記憶欄603、価格記憶欄604及び該当する商品特性記憶欄605に格納されている情報を検索結果として売り手企業側計算機110に送信する。

【0077】ステップ1002で売り手企業側計算機110の提案内容設定処理部161は、サービスプロバイダー側計算機120から送られた検索結果を受信すると、受信した検索結果をディスプレイ装置115に表示する。

【0078】図12は本実施形態の検索結果の表示及び商品選択を行う画面の出力例を示す図である。図12に示す様に本実施形態の検索結果表示/商品選択画面1200は、キーワード表示領域1201と、検索結果表示領域1202と、商品属性表示領域1203と、選択チェックボックス1204と、次ボタン1205とを有している。

【0079】キーワード表示領域1201はステップ1001で入力したキーワードを表示する領域である。検索結果表示領域1202は検索結果を商品一覧として表示する領域である。商品属性表示領域1203は選択さ

(7)

特開平11-143966

11

12

れた商品の商品画像と居性情報を表示する領域である。

【0080】選択チェックボックス1204は商品の選択を受け付けるボックスである。次ボタン1205は提案商品の選択の確定を示すボタンである。

【0081】ここで売り手企業側計算機110の提案内容設定処理部161は、上記ステップ1001のマッチング処理において得られた検索結果を商品一覧として検索結果表示領域1202に出力する。

【0082】ステップ1003において売り手企業側計算機110のシステム利用者は、入力装置114を用いて選択チェックボックス1204をチェックし、提案を行う商品を検索結果表示領域1202の商品一覧から選択する。

【0083】システム利用者が検索結果表示領域1202の中の商品を選択すると提案内容設定処理部161は、サービスプロバイダー側計算機120の商品画像テーブル171に格納されている商品画像と商品テーブル170に格納されている商品分類や商品特性等の居性情報を読み出して、商品選択にあたっての商品を説明する参考情報として商品居性表示領域1203に表示する。システム利用者は、商品居性表示領域1203に表示された商品画像及び居性情報を参照することにより、選択した商品の内容を確認することができる。

【0084】システム利用者は提案を行う商品を全て選択した後に次ボタン1205を押下して処理を次に進める。次ボタン1205が押されると提案内容設定処理部161は、前記選択された商品の一覧を表示する画面をディスプレイ装置115に出力する。

【0085】図13は本実施形態の選択商品の一覧を表示する画面の出力例を示す図である。図13に示す様に本実施形態の選択商品一覧表示画面1300は、入力領域1301と、一覧表示領域1302と、次ボタン1303とを有している。

【0086】入力領域1301は買い手企業へ商品の提案を行う際のキーワードである提案キーワードを入力する領域である。一覧表示領域1302は選択チェックボックス1204がチェックされた提案商品の一覧を表示する領域である。次ボタン1303は提案キーワードの入力を終了して次の処理に進む為のボタンである。

【0087】システム利用者は、一覧表示領域1302に表示された情報を参考にして、例えば「春を感じるハイキング」といった様な買い手企業側への販売促進を行う提案キーワードを入力装置114により入力領域1301に入力する。

【0088】システム利用者が提案キーワードの入力終了後に次ボタン1303を押下して処理を次に進めると、売り手企業側計算機110の提案内容設定処理部161は、前記入力された提案キーワード及び選択された商品の商品IDを、それぞれ提案商品テーブル150の提案キーワード記憶欄201及び商品記憶欄202に格

納する。

【0089】ここで商品記憶欄202に格納される商品IDは、優先順位の高い商品のIDほどテーブルの先頭に近い欄に格納されるものとする。優先順位の付け方については選択順序の早い順で優先順位を設定する方法や商品の種類毎に予め優先順位を設定しておく方法等が考えられるが、ここでは選択チェックボックス1204へのチェックの順番通りに商品IDが商品記憶欄202に格納されるものとする。

【0090】また前記の様に提案キーワード及び商品IDが格納された提案商品テーブル150の情報は情報通信網140を通してサービスプロバイダー側計算機120にも送信され、サービスプロバイダー側計算機120の磁気ディスク装置123には提案商品テーブル150と同じ形式のテーブルが格納されるものとする。

【0091】前記入力された提案キーワード及び選択された商品の商品IDが提案商品テーブル150に格納されると、ステップ1004で提案内容設定処理部161は、提案のコメント及びルールIDを入力する為の画面をディスプレイ装置115に出力する。

【0092】図14は本実施形態の提案のコメントとルールIDを入力する画面の出力例を示す図である。図14に示す様に本実施形態のコメント入力画面1400は、入力領域1401と、入力領域1402と、ルール無しボタン1403と、次ボタン1404とを有している。

【0093】入力領域1401は提案に関するコメントを入力する領域である。入力領域1402はルールIDを入力する領域である。ルール無しボタン1403は提案ルールが新規であることを示すボタンである。次ボタン1404はコメント及びルールIDの入力を終了して次ステップに処理を移す為のボタンである。

【0094】ステップ1004でシステム利用者は、入力領域1401に提案に関するコメントを入力装置114により入力する。前記コメントが入力されると提案内容設定処理部161は、入力されたコメントを提案商品テーブル150のコメント記憶欄203に格納する。また前記入力されたコメントの情報は、サービスプロバイダー側計算機120にも送信され、磁気ディスク装置123の提案商品テーブル150と同じ形式のテーブルに格納される。

【0095】次にステップ1004でシステム利用者は、どの買い手企業にどのような商品を提案するのかを決定する提案ルールを指定する。すなわちシステム利用者は、提案ルールが既に登録されている場合には入力領域1402にルールIDを入力し、提案ルールが新規の場合はルール無しボタン1403を押下する。

【0096】ステップ1004でシステム利用者が次ステップに処理を移す為の次ボタン1404を押下すると、ステップ1005で提案内容設定処理部161は、

(8)

特開平11-143966

13

14

ステップ1004で受け付けたルールIDの有無により次ステップへの判断を行う。

【0097】すなわち提案内容設定処理部161は、ルール無しボタン1403が押下された場合には処理をステップ1006に移し、ルールIDの入力領域1402にルールIDが入力された場合は処理をステップ1008に移す。

【0098】ステップ1006で提案内容設定処理部161は、提案ルールの定義を行う為の画面をディスプレイ装置115に出力する。

【0099】図15は本実施形態の提案ルールの定義を行う画面の出力例を示す図である。図15に示す様に本実施形態のルール定義画面1500は、入力領域1501と、入力領域1502と、入力領域1503と、送信ボタン1504とを有している。

【0100】入力領域1501は提案ルールの条件を入力する領域である。入力領域1502は複数の条件の関係を示す論理式を入力する領域である。入力領域1503は提案ルールの結論部を入力する領域である。送信ボタン1504は入力した提案ルールの内容を送信する為のボタンである。

【0101】システム利用者は、入力装置114によりルール定義画面1500への入力操作を行って提案ルールを指定する。

【0102】まずシステム利用者は、提案ルールの条件部として、提案先買い手企業の業態、立地及び売り場面積を入力領域1501に入力する。更に、それらの関係を示す論理式“AND”若しくは“OR”を入力領域1502に入力する。

【0103】次に提案ルールの結論部として、提案商品の数を入力領域1503に入力する。条件部及び結論部の入力終了後、システム利用者は送信ボタン1504を押下して処理を次に移す。

【0104】ステップ1006において送信ボタン1504を受け付けると提案内容設定処理部161はステップ1007の処理に進み、ルールテーブル153に前記入力された提案ルールを格納後、情報通信網140を介してサービスプロバイダー側計算機120に提案ルールの内容を送信する。

【0105】一方、ステップ1005においてルールIDの入力領域1402にルールIDを受け付けると提案内容設定処理部161はステップ1008の処理に進み、受け付けたルールIDに対応した提案ルールの内容をルールテーブル153から読み出して、情報通信網140を介してサービスプロバイダー側計算機120に送信する。

【0106】ステップ1009でサービスプロバイダー側計算機120は、ルールテーブル153と同じ構造のテーブルを磁気ディスク装置123に一時的に設け、売り手企業側計算機110から受け付けた提案ルールを格

納する。

【0107】ステップ1010でサービスプロバイダー側計算機120のカスタマイズ処理部182は、磁気ディスク装置123に格納されているルールテーブル153と同形式のテーブルを参照し、IF部記憶欄502に格納されている条件を満たす提案先企業を特定する。

【0108】提案先企業の特定にあたっては、売り手企業側計算機110の磁気ディスク装置113に格納されている得意先属性テーブル151を情報通信網140経由で検索してマッチング処理を行い、前記条件を満たす得意先企業の名称を同様に情報通信網140経由でロードするといった方法を用いる。

【0109】次にカスタマイズ処理部182は、ルールテーブル153のTHEN部記憶欄503に格納されている商品数の商品IDを、磁気ディスク装置123の提案商品テーブル150と同じ形式のテーブルの商品記憶欄202からロードする。

【0110】そしてカスタマイズ処理部182は、前記ロードした得意先企業の名称及び商品IDを、提案履歴テーブル172の提案先記憶欄802及び提案商品記憶欄803に格納する。なおカスタマイズ処理部182は格納した順に提案IDを自動的に付番して提案ID記憶欄801に格納する。

【0111】次にステップ1011でカスタマイズ処理部182は提案商品の確認を行う為のHTMLファイルを作成してサーバ処理部180経由で売り手企業側計算機110に送信する。

【0112】すなわちカスタマイズ処理部182は、提案履歴テーブル172の提案先記憶欄802に格納されている提案先名称と、提案商品テーブル150の提案キーワード記憶欄201に格納されている提案キーワードやコメント記憶欄203に格納されているコメントと、提案履歴テーブル172の提案商品記憶欄803に格納されている商品IDに対応した商品テーブル170中の情報とを表示するHTMLファイルを作成して売り手企業側計算機110に送信する。

【0113】売り手企業側計算機110のブラウザ処理部160は、サービスプロバイダー側計算機120からHTMLファイルを受信し、提案商品の確認を行う為の画面をディスプレイ装置115に出力する。

【0114】図16は本実施形態の提案商品の確認を行う画面の出力例を示す図である。図16に示す様に本実施形態の提案画面1600は、表示領域1601と、表示領域1602と、表示領域1603と、送信ボタン1604とを有している。

【0115】表示領域1601は買い手企業を特定するメッセージを表示する領域である。表示領域1602は提案キーワードやコメントを表示する領域である。表示領域1603は提案商品の情報を表示する領域である。送信ボタン1604は提案商品の情報を提案先企業に送

15

信する為のボタンである。

【0116】売り手企業側計算機110のブラウザ処理部160は、受信したHTMLファイルに従って、提案履歴テーブル172の提案先記憶欄802中の提案先名称を表示領域1601に出力し、提案商品テーブル150の提案キーワード記憶欄201中の提案キーワードやコメント記憶欄203のコメントを表示領域1602に出力し、提案履歴テーブル172の提案商品記憶欄803中の商品IDに対応した商品の情報を表示領域1603に出力する。

【0117】システム利用者が提案商品の確認を行った後に入力装置114により送信ボタン1604を押下すると、ブラウザ処理部160は送信ボタン1604が押されたことを示す応答をサービスプロバイダー側計算機120に送信する。

【0118】前記応答を受信したサービスプロバイダー側計算機120の提案送信処理部183は、情報通信網140を介して提案先企業の買い手企業側計算機130に前記作成したHTMLファイルを送信して商品の提案を行う。なお提案送信処理部183は前記HTMLファイルを買手企業側計算機130に送信する際に、表示領域1603に応答受付用のチェックボックスを表示する領域の付加を行う。

【0119】ステップ1012で買い手企業側計算機130のブラウザ処理部190は、サービスプロバイダー側計算機120からHTMLファイルを受信し、提案商品を表示する画面をディスプレイ装置135に出力する。

【0120】図17は本実施形態の提案商品を表示する画面の出力例を示す図である。図17に示す様に本実施形態の提案画面1700は、表示領域1701と、送信ボタン1702と、チェックボックス1703とを有している。

【0121】表示領域1701は提案された商品を表示する領域である。送信ボタン1702は応答入力処理の終了を示すボタンである。チェックボックス1703は応答の入力を受け付けるボックスである。

【0122】ステップ1013で買い手企業側計算機130のシステム利用者は、売り手企業から提案された商品に対して、その商品を買うかどうかを示す応答を入力する。

【0123】買い手企業側計算機130の提案受付処理部191は、システム利用者が入力装置134により行ったチェックボックス1703のチェック入力を受け付ける。

【0124】システム利用者は、購入しようとする全ての提案商品に対する応答を入力した後、入力装置134により応答入力処理の終了を示す送信ボタン1702を押下する。

【0125】買い手企業側計算機130の提案受付処理

(9)

特開平11-143966

16

部191は、応答入力処理の終了を受け付けた後、ステップ1014の処理により情報通信網140を通して売り手企業側計算機110に提案商品が必要であるかどうかを示す応答を送信する。

【0126】ステップ1015で売り手企業側計算機110の応答受付処理部162は、買い手企業側計算機130からの提案に対する応答を受信し、受信した応答を応答テーブル152に格納した後、その応答を表示する画面をディスプレイ装置115に出力する。

【0127】図18は本実施形態の提案に対する応答を表示する画面の出力例を示す図である。図18に示す様に本実施形態の応答表示画面1800は、一覧表示領域1801と、受注処理ボタン1802と、一覧表示領域1803と、代替品提案ボタン1804とを有している。

【0128】一覧表示領域1801は必要であることを示す応答が送られた商品の一覧を表示する領域である。受注処理ボタン1802は一覧表示領域1801に表示された商品に対しての受注処理を行う為のボタンである。

【0129】一覧表示領域1803は不要であることを示す応答が送られた商品の一覧を表示する領域である。代替品提案ボタン1804は一覧表示領域1803に表示された商品に対しての代替商品の提案を行うか否かのコマンドを受け付ける為のボタンである。

【0130】応答受付処理部162は、前記のステップ1014の処理で入力されたチェックボックス1703のチェック入力の有無を示す応答を受け付け、一覧表示領域1801と一覧表示領域1803への振り分け処理を行ってディスプレイ装置115に出力する。

【0131】ステップ1016で応答受付処理部162は、システム利用者からの入力により次に行う処理を判定する。すなわち一覧表示領域1801に表示された商品に関しての処理を行う時はステップ1018へ処理を移し、一覧表示領域1803に表示された商品に関しての処理を行うときはステップ1017へ処理を移す。

【0132】応答受付処理部162は、入力装置114により代替品提案ボタン1804の押下を受け付けるとステップ1017の処理に進み、代替商品検索処理を行う。前記代替商品検索処理は例えば以下の様に行われる。

【0133】まず応答受付処理部162は、代替品提案ボタン1804を受け付けた商品の商品IDをキーにして、商品テーブル170中の台致するレコードの商品特性記憶欄605を検索する。

【0134】次に商品特性記憶欄605に格納されている複数の商品特性から、ステップ1001において一致した商品特性以外の項目を代替商品を検索する為のキーワードとして選択し、再度商品検索処理を行う。

【0135】例えばステップ1001での商品検索処理

30

40

50

(10)

特開平11-143966

17

において、商品テーブル170の「A社製ハム」が商品特性記憶欄605の商品特性「ハイキング」により検索された場合には、代替商品検索処理においては、検索キーをそれ以外の商品特性、つまり「子供向け」或いは「自然指向」として、再度ステップ1001と同様に商品検索処理を行う。

【0136】前記代替商品を検索する為のキーワードを選択して再度商品検索処理を行った後、代替商品を提案する為の商品情報が検索されたらステップ1002の処理に戻り、ステップ1002以降の処理を繰り返す。

【0137】応答受付処理部162は、入力装置114により受注処理ボタン1802の押下を受け付けるとステップ1018の処理に進み、一覧表示領域1801に表示された商品の情報をEDI(Electric Data Interchange)ファイルへ変換し、変換したEDIファイルを用いて伝票の発行や商品の発注処理を行う。受注処理の実現方法にあたっては、電子販売促進・商談システムと自社の受注システムを接続し、両者を連動させることにより受注処理を行うものとしても良い。

【0138】前記の様に本実施形態の電子販売促進・商談システムによれば、コンピュータネットワーク上において、売り手と買い手が商品情報・商談情報等を双方向でやり取りし、効果的かつ簡単に販売促進・商談を行うことのできる電子販売促進・商談システムを提供することができる。

【0139】以上説明した様に本実施形態の電子販売促進・商談システムによれば、ネットワーク上において売り手と買い手が商品情報及びその応答を双方向でやり取りするので、販売促進・商談業務を効率的に行うことが可能である。

【0140】また本実施形態の電子販売促進・商談システムによれば、第三者機関であるサービスプロバイダーを介して販売促進・商談業務を行うので、買い手との間で販売促進・商談業務を行う際の売り手の負担を軽減することが可能である。

【0141】

【発明の効果】本発明によればネットワーク上において売り手と買い手が商品情報及びその応答を双方向でやり取りするので、販売促進・商談業務を効率的に行うことが可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態の電子販売促進・商談システムの概略構成を示す図である。

【図2】本実施形態の提案商品テーブル150の一例を示す図である。

【図3】本実施形態の得意先属性テーブル151の一例を示す図である。

【図4】本実施形態の応答テーブル152の一例を示す図である。

18

【図5】本実施形態のルールテーブル153の一例を示す図である。

【図6】本実施形態の商品テーブル170の一例を示す図である。

【図7】本実施形態の商品画像テーブル171の一例を示す図である。

【図8】本実施形態の提案履歴テーブル172の一例を示す図である。

【図9】本実施形態のシソーラステーブル173の一例を示す図である。

【図10】本実施形態の電子販売促進・商談システムの処理手順を示すフローチャートである。

【図11】本実施形態の提案商品の検索画面の出力例を示す図である。

【図12】本実施形態の検索結果の表示及び商品選択を行う画面の出力例を示す図である。

【図13】本実施形態の選択商品の一覧を表示する画面の出力例を示す図である。

【図14】本実施形態の提案のコメントとルールIDを入力する画面の出力例を示す図である。

【図15】本実施形態の提案ルールの定義を行う画面の出力例を示す図である。

【図16】本実施形態の提案商品の確認を行う画面の出力例を示す図である。

【図17】本実施形態の提案商品を表示する画面の出力例を示す図である。

【図18】本実施形態の提案に対する応答を表示する画面の出力例を示す図である。

【符号の説明】

110…売り手企業側計算機、120…サービスプロバイダー側計算機、130…買い手企業側計算機、140…情報通信網、111…CPU、112…メモリ、113…磁気ディスク装置、114…入力装置、115…ディスプレイ装置、116…CD-ROM装置、150…提案商品テーブル、151…得意先属性テーブル、152…応答テーブル、153…ルールテーブル、160…ブラウザ処理部、161…提案内容設定処理部、162…応答受付処理部、121…CPU、122…メモリ、123…磁気ディスク装置、124…入力装置、125…ディスプレイ装置、126…CD-ROM装置、170…商品テーブル、171…商品画像テーブル、172…提案履歴テーブル、173…シソーラステーブル、180…サーバ処理部、181…マッチング処理部、182…カスタマイズ処理部、183…提案送信処理部、131…CPU、132…メモリ、133…磁気ディスク装置、134…入力装置、135…ディスプレイ装置、136…CD-ROM装置、190…ブラウザ処理部、191…提案受付処理部、201…提案キーワード記憶欄、202…商品記憶欄、203…コメント記憶欄、301…得意先ID記憶欄、302…得意先名称記憶欄、

(11)

特開平11-143966

19

20

303…業態記憶欄、304…立地名記憶欄、305…売り場面積記憶欄、401…提案ID記憶欄、402…商品ID記憶欄、403…応答記憶欄、501…ルールID記憶欄、502…IF部記憶欄、503…THEN部記憶欄、601…商品ID記憶欄、602…商品分類記憶欄、603…商品名称記憶欄、604…価格記憶欄、605…商品特性記憶欄、701…商品ID記憶欄、702…商品画像記憶欄、801…提案ID記憶欄、802…提案先記憶欄、803…提案商品記憶欄、901…キー記憶欄、902…関連ワード記憶欄、1100…提案商品検索画面、1101…入力領域、1102…入力領域、1103…実行ボタン、1200…検索結果表示/商品選択画面、1201…キーワード表示領域、1202…検索結果表示領域、1203…商品属性表示領域、1204…選択チェックボックス、1205*

*…次ボタン、1300…選択商品一覧表示画面、1301…入力領域、1302…一覧表示領域、1303…次ボタン、1400…コメント入力画面、1401…入力領域、1402…入力領域、1403…ルール無しボタン、1404…次ボタン、1500…ルール定義画面、1501…入力領域、1502…入力領域、1503…入力領域、1504…送信ボタン、1600…提案画面、1601…表示領域、1602…表示領域、1603…表示領域、1604…送信ボタン、1700…提案画面、1701…表示領域、1702…送信ボタン、1703…チェックボックス、1800…応答表示画面、1801…一覧表示領域、1802…受注処理ボタン、1803…一覧表示領域、1804…代替品提案ボタン。

【図2】

図2

提案キーワード	商品1 (ID)	商品2 (ID)	商品3 (ID)	...	コメント
香を感じるハイキング	0001	0021	0010	...	
...	

【図3】

図3

得意先ID	得意先名称	業態	立地	売り場面積	...
001	A株式会社	SM	駅前	100m ²	...
...

【図4】

図4

提案ID	商品1	応答1	商品2	応答2	...
001	0001	要	0021	不要	...
...

(12)

特開平11-143966

【図1】

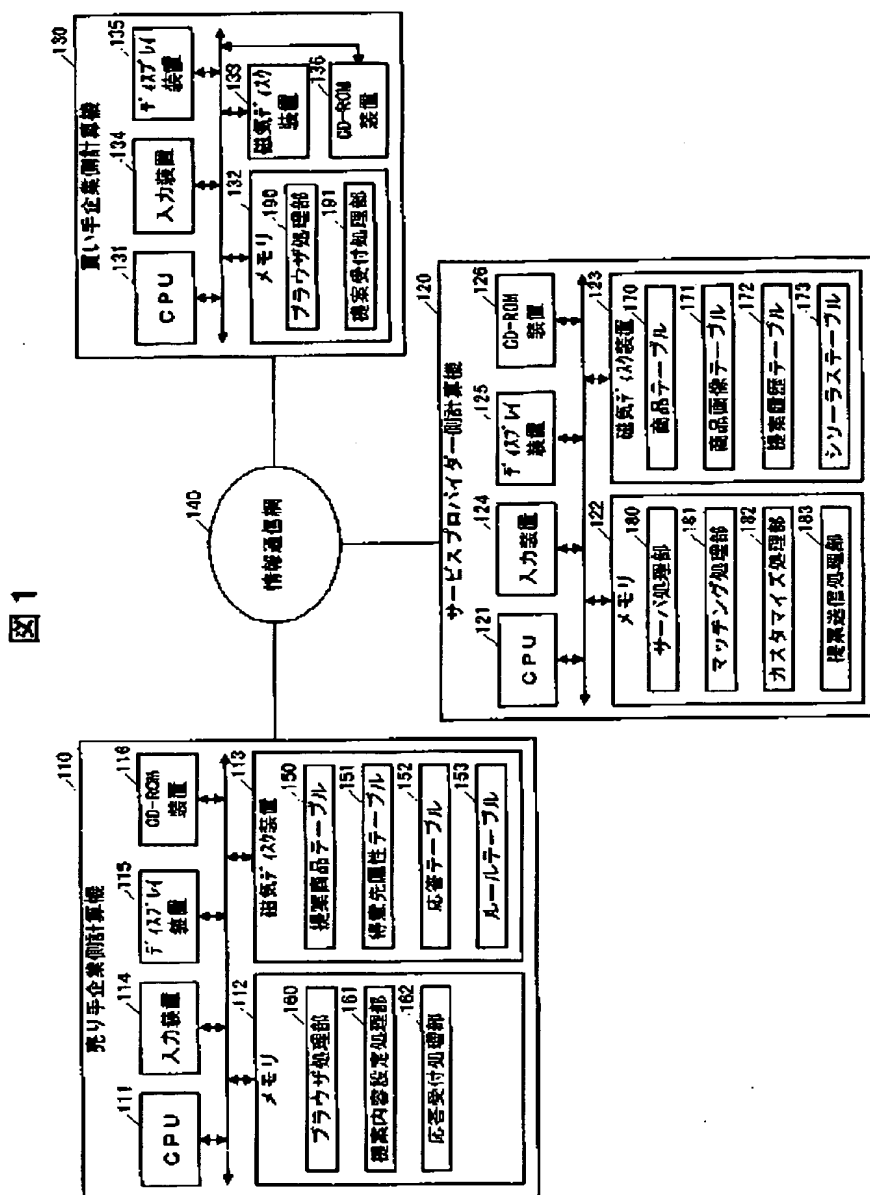


図1

(13)

特開平11-143966

【図5】

図 5

153	501	502	503
ルールID	IF部	THEN部	
0001	"乗客=5人" and "充電回数=100回"	30	
...	

【図6】

図 6

170	601	602	603	604	605		
商品ID	商品分類	商品名称	価格	商品特性1	商品特性2	商品特性3	...
0001	加工肉類	A社製ハム	300円	子供向け	自然指向	ハイキング	...
...

【図7】

図 7

171	701	702
商品ID	商品画像	
0001	画像ファイル	
...	...	

【図8】

図 8

172	801	802	803		
検索ID	検索先	商品1	商品2	商品3	...
0001	Bストア	0001	0021	0010	...
...

【図9】

図 9

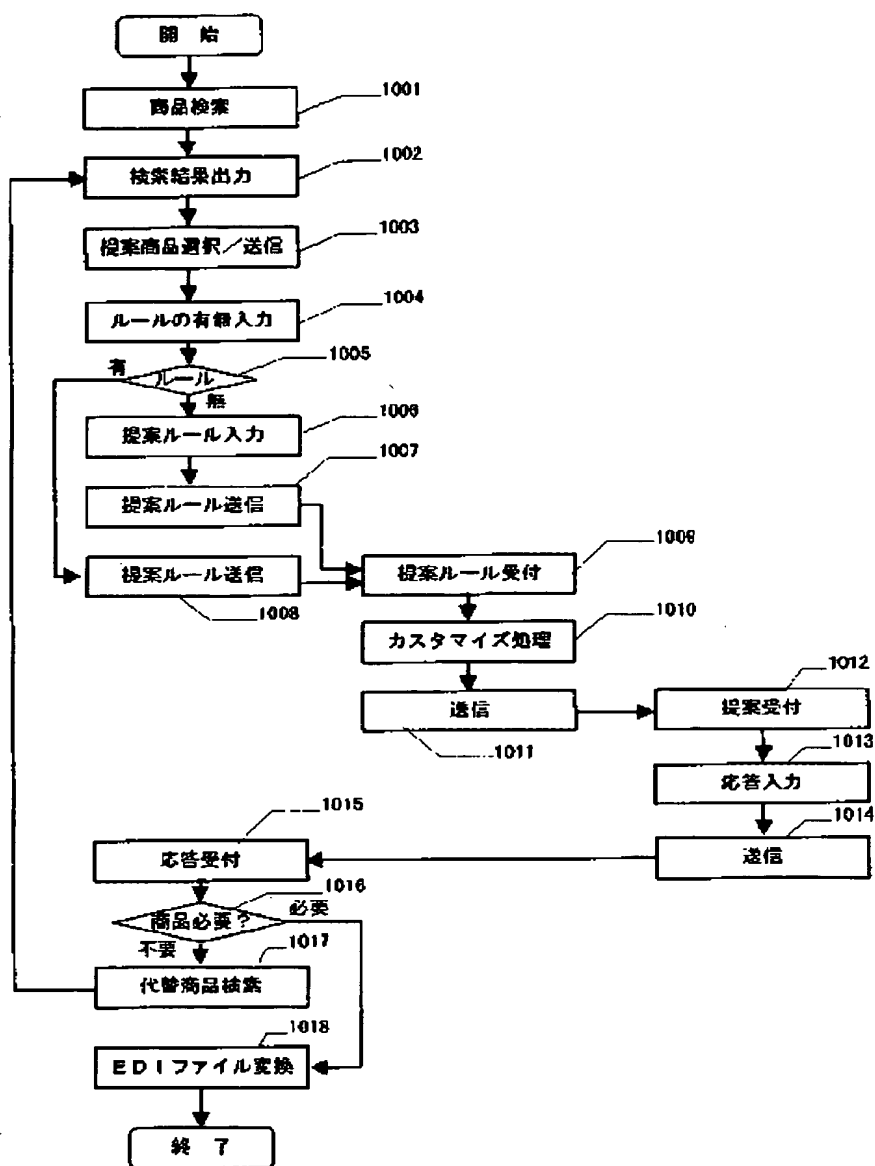
173	901	902		
キー	ワード1	ワード2	ワード3	...
ハイキング	遠足	春	アウトドア	...
...

(14)

特開平11-143966

【図10】

図 10



(15)

特開平11-143966

【図11】

図11

【図12】

図12

【図13】

図13

【図14】

図14

【図15】

図15

【図16】

図16

(16)

特開平11-143966

【図17】

図17

最新画面（買い手側） 1700

今日ストアへ6/10のご来店が
いつもお得意様になります。今日は「暑さを癒
えるハイキング」のキラーでござります。

商品名	価格	残高
商品A	300円	0
商品B	200円	0

1701 1702 1703

1704

【図18】

図18

最新画面（売り手側） 1800

必須商品

商品ID	商品名
0001	商品A
0010	商品C

1801 1802

1803

1804

1805

1806

フロントページの続き

(72)発明者 曾我 修治
 神奈川県横浜市都筑区加賀原二丁目2番
 株式会社日立製作所ビジネスシステム開発
 センター内